

自粛中の活動の様子を訊きました

◎3月時点の活動自粛でまず行ったこと

- 連絡** ●メール・リスト、電話、メール、ラインなど相手に合わせたツールで連絡を行った
- 会議** ●ZoomやLINEグループで情報共有し、会議を行った ●会議の延期をした ●メンバーからの意見はメールで吸い上げた
- 活動** ●参加予定者や外部の方にはメールやHPでお知らせ ●質疑には直接電話で対応 ●散歩は少人数にした ●スケジュールの見直しをした ●会報発行の延期をした
- 対策** ●危機管理、防災対策マニュアルに、感染症対策を加えるため情報収集をした ●衛生管理面を再度見直した
- 心構え** ●収入減を覚悟した ●夏休みで穴埋めできるよう考えた

◎自粛中の各団体の活動

ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会

手作りマスクで“想い”を手渡し

ドッグセラピーで訪れていた施設への訪問もストップ。何かできることはないかと思い、当時不足していたマスクを手作りして届ける活動を始めました。お届けする人、お届けする日を思い描きながら、家族総出で一つ一つ心を込めて。実際にお渡しした時の笑顔は何よりの喜びでした。



この日は社会福祉法人黎明会の黎明寮にマスク100枚をお届け▲

小平はぐくみプロジェクト

オンラインで「こだはぐカフェ」を開催

緊急事態宣言下で、子ども連れでおでかけするのは難しい。そこで「オンライン☆こだはぐカフェ」をお試しで開いてみました。開催5日前の告知で急な案内でしたが、ありがたいことに7組の方にご参加いただきました♪



わらべうたや絵本を紹介▶

子育てサポート きらら

知恵を出し合い、新しい生活をスタート!

子育て広場は3月末から中止。子育て中の方がほんのひと時でも安らげるようにと、保育登録家庭には『きらら通信』を郵送しました。また、手か

子ども食堂 風鈴草

「密」を避け、持ち帰りスタイルで再開

大人も子どもも一緒に、わいわいがやがやと食卓を囲むのが「子ども食堂」なのに、集まれない。それでも何とかできないかと、春休み中のお弁当販売や、5月以降は持ち帰りスタイルに変えて再開。容器を持って来てもらうことで“地球にも優しい”食堂になりました。

NPO法人いたわり・いたわりの会事業部

立ち止まることなく活動し続けました

在宅訪問サービス（家事援助・介護・保育・その他）の活動なので、自粛中でも、活動の中止は出来ません。ヘルパーにはメールなどで情報を提供し、毎日、検温・マスク着用、手洗い・うがい・消毒など感染予防を徹底して訪問・援助活動を続けています。利用者からは安心してサービスを受けられると感謝されています。

郵送したお手紙付きの折り紙。さらに新しい試みとして、6月から5月2回「プチきらら市」を開催



ら手へあたたかいものを届けられたらと思い、手作りの工作キットや折り紙も広場の再開まで続ける予定です。Zoomで総会を行い、Instagram、Facebookもはじめ、まさに新しい生活のスタートでした。

小平あたりで Civic Tech

市内テイクアウト情報アプリを作成

コロナ禍の自粛中、とりわけ困難を極めたのが飲食店。そんな時に助け舟を出したのは、小平あたりで Civic Tech。バリアフリー情報を公開していたアプリに続き、市内のテイクアウト情報をまとめて公開しました。



アプリ画面。近くのお店が探しやすい▶

小平要約筆記サークル「ほおずき」

体験して初めてわかることがある

未完の記念誌を抱えて困っていた矢先の自粛生活。20年を振り返るチャンスと急ピッチで仕上げ、手分けをして配りました。思いがけず過去の自分たちに元気づけられました。また、口元を隠すマスクは中途失聴・難聴者には、必要でも不便だと知ってもらう活動を続けています。



完成した記念誌▲

小平図書館友の会

願いを込めてハガキを郵送

5月に、会員130数名にハガキを出しました。「また皆様とともに活動できる日が来ることを切に願っています。」という文面に、9月からの予定を書きました。

◎自粛中のあすぴあ

5月連休には、センターとのつながりを確認する機会にもらえるよう、全登録団体に職員の一言メッセージを添えてハガキを出しました。「手紙をもらって自分たちもメンバーと連絡を取り合った。オンラインなら遠くに離れたメンバーとも連絡取って新しい取り組みが出来そう」「丁寧な添え書き、あたたかく感じました」など、10数件の返信をいただきました。

あすぴあはこれまでも、これからも、皆さんの活動をサポートします!

憲法カフェ@なかまちテラス

アンケートハガキでつながりをつなぐ

なかまちテラスの休館によりカフェは開催できなくなり、常連の参加者の方々に近況をうかがうハガキを送りました。寄せられたコメントに私たちも励まされ、6月からの再開がより一層楽しみとなりました。



往復ハガキで交流▶

あさやけ作業所

みんなを元気にする「お楽しみ福袋」を開発

イベント中止などで各作業所の売り上げは激減。このままではまずい!と、思い付いたのが他の法人さんの取り組みを参考にした「お楽しみ福袋」でした。SNSやチラシでお知らせすると好評で完売。皆で喜び合いました。第2弾につなげていきます。



福袋は3種類▶

小平市女性のつどい

つながる工夫をする

会報はメールのやりとりで作成。PDFで配信し、6月に印刷した会報を発送しました。Zoom会議や電話・LINEグループでのやりとりを行い、書面総会を決めました。40周年記念誌の作業は Google ドライブ を利用して進めています。



40周年記念誌の表紙案▲